

成績評価及び卒業認定の基準

1. 定期試験

① 本試験

各学期末に受験資格のある学生に対して実施します。
試験時間割は、原則として試験開始の1週間前に発表されます。

② 追試験

公欠および公欠に準ずる理由で本試験を欠席した学生に対して実施します。
追試験受験許可願を学務課に提出し、許可されたときに所定の受験手続き後、受験することができます。
(欠席事由を証明する公的書類が必要です)
追試験時間割は試験開始の1週間前に発表されます。

③ 再試験

本試験の結果、成績がD判定あるいは欠席となった科目について所定の受験料納付手続き後、受験することができます。
再試験時間割は試験開始の1週間前に発表されます。

2. GPA制度

① GPA制度（成績評価制度）について

GPA制度は、成績平均値（Grade Point Average）の算出式を用いて成績評価を行うという制度です。
学生の成績評価をより明確にすることにより、授業に対する学生の意識を高め、学期ごとに学生の学修及び学習指導に役立てること、成績評価基準を学外の評価基準に標準化し国際化を図ることが導入の目的です。

GPAは学んだ量ではなく質を評価するものであり、GPAという客観的な数値を通して、本学の教育の質や学生の質を社会的評価へつなげるものです。

②判定基準と算出方法

区分	成績評価	評価基準		G P
合格	A+	100～90点	科目内容を修得し、極めて優秀な成績を修めた者	4
	A	89～80点	科目内容を修得し、優れた成績を修めた者	3
	B	79～70点	科目内容を修得し、良好な成績を修めた者	2
	C	69～60点	科目内容を修得したと認められる者	1
不合格	D	59～0点	科目内容を修得したとは認められない者	0
	E		試験欠席	0
	F		受験資格喪失	0
G P 対象外	G		履修中止	
	認定		認定科目	
	H		試験不正行為停止	

$$GPA = \frac{\text{(各科目 } GP \times \text{単位数) の合計}}{\text{履修登録科目単位数の合計}}$$

授業科目	単位数	評価	GP	GP × 単位数
基礎1	2	B	2	2
基礎2	2	F	0	0
実習1	1	A+	4	4
実習2	1	C	1	1
専門1	2	A	3	6
専門2	2	D	0	0
専門3	2	B	2	4
合計	12			19
GPA	1.5833	⇒	1.58	(小数第2位)
	(19 ÷ 12)			

●成績通知書

学期ごとに配付される「成績通知書」には、1年次からの全ての履修登録科目の「通算GPA」と「学期GPA」、「学年GPA」の3種類が記載されます。GPAは履修登録された全ての科目を対象として算出しますので、不合格評価（D、E、F）となった科目（GP=0）も含まれます。

ただし、教職科目、特別科目（卒業単位に含まない）、認定科目（他大学等からの既修得単位の認定科目）はGPA評価の対象外となります。

不合格科目を再履修し、合格した場合は、合格評価（A+、A、B、C）のみ記載し、再履修前の不合格評価（D、E、F）は記載されません。

3. 卒業要件

卒業するためには、基礎教育科目から14単位以上、専門共通科目から必修科目を含めて12単位以上、専攻専門教育科目から必修科目を含めて36単位以上を修得し、合計単位数が62単位以上であることが必要です。